

塗膜性能や耐久性にフォーカスした 外壁タイル剥落防止工法

透明度が高い高強度・高耐久のウレタン樹脂とアンカーピンを用いて、外壁タイルの剥落を防止する工法。下地の構造や施工条件に応じて複数の工法バリエーション（SG-1、SG-3など）があり、タイル本来の意匠を損なうことなく、長期的な安全性と美観を両立する。10年以上にわたる豊富な施工実績があり、信頼性と有効性を裏付けている。

・技術審査証明書取得

【特長】

①意匠性と対応力に優れた仕上がり

透明度の高いウレタン樹脂により、既存タイルの風合いや色合いを損なうことなく美観を保持。張り替えによる色違いの心配もなく、さまざまな形状の外壁にも対応可能。

②工期の大幅短縮と効率化

ネット張りやモルタル塗布、養生期間が不要となるため工期を短縮できる。また、不足する左官の熟練工を必要とせず、塗装工または防水工1職種で施工が可能。

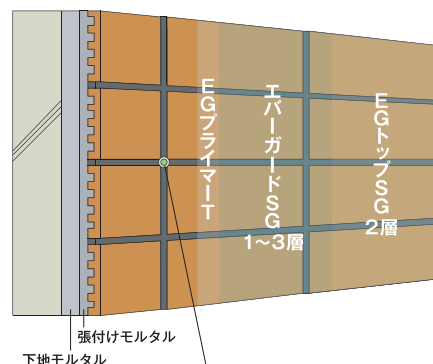
③全面改修（面改修）にも対応

部分的な補修にとどまらず、外壁の全面的な改修にも対応し、長期間にわたって剥落防止効果を維持する。

④高い防水性能

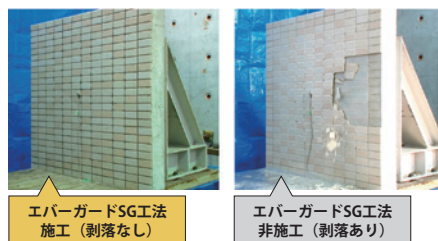
使用されるウレタン樹脂は高い防水性能も発揮するため、剥落を防止するとともに外壁の防水性を大きく向上させる。

■SG-1工法（下地モルタル層がある場合）概要図



※50ニ丁掛（45ニ丁）等、目地幅が5mmの場合は、ダブルロックアンカーダイレクトを使用。

■振動実験（剥落防止効果の検証）



浮きを再現した試験体に、エバーガードSG工法を施工した試験体と非施工の試験体を作り、東日本大震災相当の負荷をかけて状況を観察。その結果、エバーガードSG工法を施工した試験体では剥落がなかったのに対し、非施工の試験体では下地タイルの剥落が見られた。